

IHI 統合報告書 2024

目次

I ビジョンストーリー

- 005 トップメッセージ
- 014 経営理念、将来のありたい姿
- 015 製品年表
- 017 事業ポートフォリオの変遷
- 019 製品概況
- 021 株主・投資家から寄せられた
主な意見に対する対応

II 価値創造ストーリー

- 023 ビジネスモデル
 - 023 価値創造プロセス図
 - 025 ありたい姿の実現に向けた
価値創造ストーリー
 - 027 6つの経営資本
- 029 IHIグループの重要課題
- 031 カーボンニュートラル鼎談
- 037 イノベーションマネジメント鼎談
- 042 人財担当役員メッセージ
- 045 財務担当役員メッセージ
- 049 「グループ経営方針2023」の進捗
- 052 事業概況
- 057 財務サステナビリティデータハイライト

III ビジネスストーリー

- 059 中核事業
- 061 成長事業
- 065 育成事業
- 069 中長期的な事業ポートフォリオの姿

IV サステナビリティストーリー

- 071 サステナビリティ・マネジメント
- 073 気候変動と自然資本
- 077 人財戦略
- 079 DE&I座談会
- 084 人権の尊重
- 086 サプライチェーン・マネジメント
- 087 ステークホルダー・エンゲージメント
- 089 コーポレート・ガバナンス
- 099 IHI 社外取締役座談会

V データセクション

- 105 財務データ
- 107 サステナビリティデータ
- 111 会社概要と株価・株式関連情報
- 113 役員紹介
- 116 グローバルネットワーク

D REPORT 2024

統合報告書2024のコンセプト

IHIグループの2030年および10年後の目指す姿をステークホルダーの皆さまにわかり易くお伝えすることを念頭に作成しました。IHIグループは、将来のありたい姿として、「自然と技術が調和する社会を創る」企業を目指しており、目下、バリューチェーンを創造する企業への変革に向けて動き出しています。企業価値向上へ向けて、財務情報と非財務情報が統合された思考でSX（サステナビリティトランスフォーメーション）を目指した企業経営が実践されていることを統合報告書から読み取っていただければ幸いです。

注目ポイント

トップメッセージ → p.005

トップメッセージでは、最高経営責任者自らIHIグループがバリューチェーンを創造する企業へ変革する決意を説明しています。また、これからのグループの成長に欠かせないポートフォリオマネジメントの考え方や、DE&Iのグループへの浸透についても説明しています。

経営層が語るIHIグループの カーボンニュートラルとイノベーションマネジメント

カーボンニュートラル鼎談 → p.031 イノベーションマネジメント鼎談 → p.037

社会のカーボンニュートラルの実現に貢献しながら、稼ぐ企業に変化していくことを示すべく、社長と副社長による座談会を実施しました。また、持続的に非連続的な成長を起こすイノベーションマネジメント体制を示すべく、担当執行役員3名の座談会を実施しました。

成長事業と育成事業の戦略を責任者が語る

成長事業 → p.061 育成事業 → p.065

長期的な価値向上のキーとなる、成長事業と育成事業に関して担当他役員からの詳細説明をインタビュー形式で掲載しました。

IHIグループのDE&I最前線& 社外取締役から見たIHIグループの課題と期待

DE&I座談会 → p.079 IHI社外取締役座談会 → p.099

DE&I座談会では公平性に配慮しながら、リターン創出を意図する事業部の足元の取り組みをご紹介します。社外取締役座談会では、バリューチェーンを創造する企業への変革とこれからの成長に向けてのモニタリングのポイントを整理しました。

IHIグループの価値創造ストーリー全体を示しており、本書全体の骨格となるものです。特に「グループ経営方針2023」の先の方針となる、バリューチェーンを創造する企業とはどのようなものを中心に、CEO井手自らの言葉で語っています。その他に、IHIグループの歴史、製品なども端的にわかりやすく説明しています。

ビジョンストーリー

I

IHIグループの価値創造ストーリーの全体像をまとめています。IHIグループが目指す「自然と技術が調和する社会」を創るために、どのような価値創造プロセスで社会とIHIグループにアウトカムを創出し、持続的な成長に貢献するのかを示しています。

価値創造ストーリー

II

「価値創造ストーリー」で示した価値創造プロセスをビジネスの側面から捉え、どのような戦略で、現在どのような取り組みをしているのか、それがどのように将来につながるのか、具体的にご説明しています。

ビジネスストーリー

III

「価値創造ストーリー」で示した価値創造プロセスをIHIグループのESG経営の側面からご説明しています。IHIグループの4つの重要な課題である「気候変動への対策」、「多様な人財の活躍」、「人権の尊重」、「ステークホルダーからの信頼の獲得」を中心に現状の姿と、目指す姿に向かう戦略を示しています。

サステナビリティストーリー

IV

投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまが、IHIグループを評価する際に必要となる過去の実績を一覧にして「データ集」としてまとめています。当社グループの分析や対話の際にお役立ていただければ幸いです。

データセクション

V

編集方針

「ぜひご自身がワクワクするものを作ってください」。昨年度、投資家の方にいただいたアドバイスでした。それまでは、IRフレームワークや価値創造ガイダンス、投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまからのフィードバックを基に、各コンテンツをより良いものにすることに集中していましたが、その言葉にハッとさせられました。自分自身がワクワクするものこそが、ステークホルダーの皆さまにもワクワクしていただけるのだと気づいたのです。

本社部門である私たちは、IHIグループがこれまでにないスケールとスピードで成長しようとする全体像を身近に感じ取ることができる立場にあります。今年度はIHIグループの将来とそれに向けた価値創造ストーリーに対して期待感を持ち、ワクワクしていただけることを心がけました。

社長の井手は、今年度のIHIグループ全体の重点施策の方針を「「当たり前」を覆す」としています。我々編集チーム一同もこれまでの内容を一から見直し、開示内容の改善を図りました。これからは、本報告書をツールとしたステークホルダーの皆さまとの対話の質の向上を目指して、実効性を高めていきます。皆さまからいただくご意見や情報は、確実に経営層へ届け、経営の改善を継続していきます。

170周年を迎えた当社グループはこれまで多くのステークホルダーの皆さまと共に成長し、今に至っています。諸先輩方がつなぎ受け継いできたものを、私たちも引き継ぎ次の世代に渡していきます。ステークホルダーの皆さまにはこれまで以上に、当社グループへの忌憚のないご意見ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

IHI 統合報告書編集チーム一同 敬白

対象範囲 | 株式会社IHIおよび主要なグループ会社

対象期間 | 2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)。ただし、一部には2022年度以前や2024年度以降の活動や情報も含まれています。

お問い合わせ先 | IHIウェブサイトよりお問い合わせください。〈CSR活動に関するお問い合わせ〉
https://www.ihi.co.jp/ihi/contact/form/form_ihi_10707.html

情報体系 | IHIグループは、ステークホルダーの皆さまのご要望にお応えし、複数の媒体で情報を開示しています。

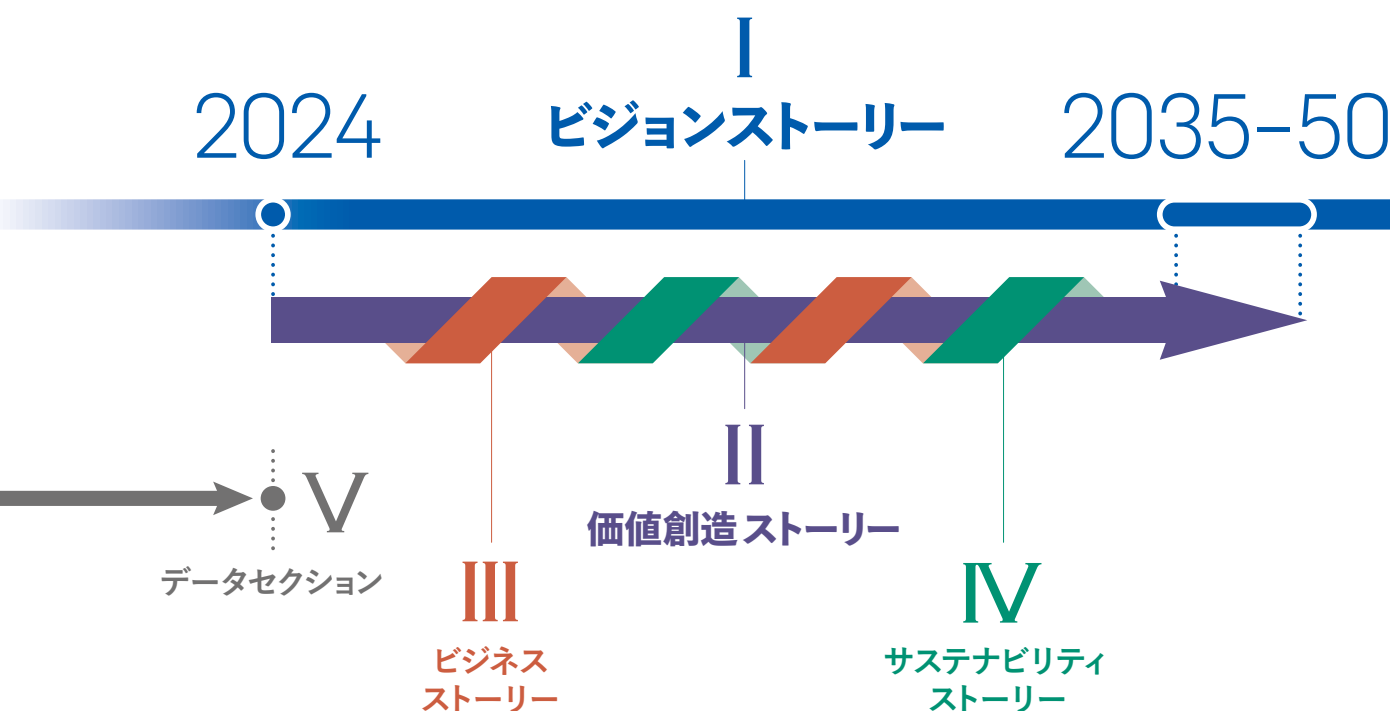
	非財務	財務
年次報告書	● 統合報告書	
	● 「Sustainability Data Book」 ● 「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」	● 「有価証券報告書」
最新の情報	● ウェブサイト「サステナビリティ」 https://www.ihi.co.jp/sustainable/	● ウェブサイト「株主・投資家情報」 https://www.ihi.co.jp/ir/

IHI 統合報告書についてのアンケート
(Microsoft Forms)

<https://forms.office.com/r/VrR12ExVa2>



各章の体系図



経営理念

Management Philosophy

技術をもって
社会の発展に
貢献する

人材こそが
最大かつ唯一の
財産である

将来のありたい姿

Our Sustainability Goal

自然と技術が
調和する社会を創る

“工業を振興し、技術の力で国を発展させる”
石川島平野造船所（現IHI）創立者・平野富二は、この志を遂げることにより、生涯をかけました。
富二の志は、IHIグループが大切にしている変わらぬ価値観として、
経営理念の中に時代を超えて今も息づいています。